

鬼北町立広見中学校

道徳通信

道徳主任 酒井 智有

NO. 55

令和8年3月25日発行

よりよく生きる

令和7年度の全ての課程修了！！

本日、3月25日（水）をもって、令和7年度の広見中学校の全ての学校教育活動が終了しました。修了式では、校長先生より、修了書が手渡されました。これにより、1・2年生全員が来年度の進級を果たすことができたということになります。1・2年生の皆さん、1年間お疲れ様でした。

そして、各学年の課程の修了と進級おめでとうございませう。4月からは、学年がひとつ上がります。それぞれの学年には、それぞれの役割があります。来年度も、自分の学年に必要な資質を身に付けながら、道徳性を養っていきましょう。

1年生は、じっくり物事を考えたり、冷静に物事を対処したりする力が高いと感じています。道徳の授業でも、普段はあまり発表しない生徒が、とても深く考えた内容をコメントしているのを見て、驚くことが多々ありました。そんなよさを持っている1年生には、これからもみんなでもより深く考えながら、よりよい生き方とは何かを追求して欲しいと思います。

2年生は、授業で意欲的に発表したり、意見を交わし合ったり、仲間の意見を尊重したりすることができるという強みがあります。そのため、道徳の授業でも意見が飛び交い、大変盛り上がる授業を自らつくり上げることができます。2年生には、これからも級友の意見を大切にしつつ、自分の意見を堂々と発表し、多様な意見から考えを深めていく授業を自分たちでつくり上げて欲しいと思います。

今年度は、道徳に関する研修を多数行い、いろいろな研究を進めてきました。生徒の皆さんが、道徳の時間に仲間の意見に耳を傾け、意欲的に発表を行い、そしてクラスのみならず、よりよい生き方を考えてくれたことは、とてもよかったと感じています。私たち教職員にとっても、生徒の皆さんの素直な意見、ハッと心が揺さぶられるような意見を聞くことができ、とても勉強になりました。これからも、生徒とともに学んでいく姿勢を忘れず、道徳の授業を教職員自身が楽しみたいと考えています。

今年度、道徳通信を発行し、いろいろな情報発信をしてきました。また、道徳に関する啓発も行ってきました。道徳通信は、55号をもって今年度の発行を終了いたします。道徳通信が、生徒や保護者の皆様にとって適切な内容になっていたかどうか、私たちも検証や分析をしていかなければならないと感じています。来年度も、道徳通信を継続して発行していきたいと考えております。広見中学校の生徒の皆さんが、全教育活動を通して、来年度も学校教育を充実させ、大きく成長していくことを期待して、今年度の道徳通信発行を終了いたします。



1年間、大変お世話になりました！！！！

